

協会けんぽ「第3次保険者機能強化アクションプラン」策定時のポイント

■1 アウトカム評価を行う

- ・アウトプット評価ではなく、アウトカム評価とする
(アウトプット=活動自体の結果、アウトカム=施策・活動が対象にもたらした変化としての成果)

■2 アウトカム目標とアウトカム指標を設定する

- ・アウトカム目標を設定し、その指標を設定する
- ・アウトカム指標は、社会にある指標からの選択と、独自の調査の、両方を使用する
- ・指標の情報源として、既存データのみならず、必要な指標・データの開発を行う／促す
- ・客観データをできるだけ使用する／開発する。同時に、主観データも活用する
- ・アウトカム指標として、加入者（患者・受療者）調査を実施する
- ・中間アウトカム指標として、客観データの不足を補うため、医療提供者調査を実施する

■3 施策・活動は、アウトカム指標と結びつけて設定する

- ・施策・活動は、アウトプット目標（指標）のみならず、影響を与えようとするアウトカム目標を明示する
- ・アウトカムへのインパクト（効果）の大きさを考察・想定し、施策・活動を優先づける
- ・施策・活動には、アウトプット指標を設定する
- ・施策・活動は、別途、それぞれにアクション計画書を作成する
- ・施策は、アウトカム評価の結果に基づいて、優先付けの変更、入れ替えなどを行う

■4 評価の仕方をあらかじめ決めておく

- ・施策・活動がアウトカムに与えたインパクト（影響）を評価・考察する
- ・だれがどのように評価するかを、あらかじめ決めておく／想定しておく。外部評価、内部評価の両面で活用する。事業評価とも連動させる
- ・責任追及よりは、アウトカムを高め、活動の継続的な改善のための評価である

■5 上記4点の基盤として「施策・指標マップ」を使用する

- ・「医療の質と効率性の向上」、「加入者の健康度を高める」、「医療費の適正化」の3分野について「施策・指標マップ」を作成する
- ・継続的、中長期的なPDCA（計画、実行、評価、改善）サイクルの各段階でチェックの基盤として活用する

（「施策・指標マップ」とは、ロジックモデルと指標を体系的に配置したもの。ロジックモデルとは、施策の目的と施策の活動の因果関係を図示したもの。施策の有効度を高めるため、質の高い評価を実施するために、有効とされているツール。次ページの例を参照）

◇保険者機能強化プラン「施策・指標マップ」【医療の質と効率性の向上】分野(イメージ)

【目指すべき姿】関係者への働きかけや意見発信を行うことで、医療・介護サービスが提供される地域に問わず、質が高く効率的な医療・介護サービスが提供される

アクションとアウトプット【区分】		指標	関連アウトカム
＜協会けんぽの施策・事業・活動＞			
①	「医療の質・可視化センター(仮称)」を設置する。必要な調査研究を行う【本・内】	計測	1
②	ベンチマークセンターの設置と各界のデータ整備を提言する【本・外】	計測	1
③	医療とケアを受けている加入者へのニーズ・満足度調査を定期的に実施する【本・内】	計測	1,4,5,6,7
④	提供されている医療とケアに関する多種の医療提供者への意識調査を定期的に実施する【本・内】	計測	1,4,5,6,7
⑤	医療ケア各分野に関するデータベースの作成、政策提言・推奨施策集を作成する【公表】【本・内】	計測	2,3
⑥	保険者の間で連携して動ける仕組みを作り、参加し、共に関係者に働きかける【本・外】	計測	2,3
⑦	国・地方自治体の審議会など意見を出す場に参加し、意見を述べる【本・外】	計測	2,6
⑧	医療提供者に推奨施策を伝え、そのPDCAをモニターする場を協働設置し、意見を述べる【本・外】	計測	3,4,5,6
⑨	ウェブで加入者向け地域の医療ケアガイドを提供する【本・内】	計測	7

中間アウトカム		指標
＜医療ケアサービス側における変化＞		
1	加入者が受けている医療とケアの現状が把握されている	ベンチマークセンターの情報への評価
2	行政が推奨する施策を実施している	地域医療計画の評価、推奨施策実施数とその成果
3	医療提供者が推奨する施策を実施している	推奨施策実施数とその成果
4	地域の医療ケアの技術が向上している	加入者調査、医療提供者調査
5	地域に必要な、チーム医療ケアができる人材が確保できている	加入者調査、医療提供者調査
6	地域の医療ケアの役割分担と連携の体制ができていく	地域医療構想進捗度、医療提供者調査、加入者調査
7	加入者に医療とケアに関する必要な情報が提供されている	加入者調査、医療提供者調査

アウトカム		指標
＜患者・医療消費者・住民側における変化＞		
A	加入者が安全で質の高い医療とケアを受けている	社会にあるアウトカム指標、プロセス指標から選定
B	加入者が満足した医療とケアを受けている	加入者(受療者)調査

◇保険者機能強化プラン「施策・指標マップ」●「加入者の健康度を高めること」分野(ラフイメージ)

【目指すべき姿】根拠のある健康増進活動を、提供者と加入者と雇用者が行うことで、加入者の健康増進と重症化予防が達成されている

アクションとアウトプット	指標	関連アウトカム
＜協会けんぽの施策・事業・活動＞		
① データ分析	計測	1～7
② 推奨施策の策定	計測	1,2
③ データヘルス計画の遂行	計測	5,7
④ 特定検診、特定保健指導の推進	計測	6
⑤ 重症化予防モデル事業	計測	7
⑥ 医療等関連機関（病院、診療所等）の重症化予防行動変容プロジェクト	計測	4,5
⑦ 事業所主導健康増進活動	計測	6,7
⑧ 加入者行動変容プロジェクト	計測	6,7

中間アウトカム	指標
＜医療ケアサービス側における変化＞	
1 行政による地域の健康増進・重症化予防に関する質の高い計画ができ、実施されている	協会けんぽによる評価
2 提供者による健康増進・重症化予防に関する質の高い計画ができ、実施されている	協会けんぽによる評価
3 協会けんぽの健康増進活動に関する質の高い計画ができ、実施されている	協会けんぽの自己評価と外部評価
4 地域の健康増進体制が整備されている、健康増進活動が実施されている	医療提供者調査、加入者調査
5 地域の重症化予防の体制が整備され、実施されている	医療提供者調査
6 住民・加入者の健康増進に関する意識変容と行動変容が起こっている	加入者調査
7 患者・加入者の重症化予防に関する意識変容と行動変容が起こっている	加入者調査

アウトカム	指標
＜患者・医療消費者・住民側における変化＞	
A 健康の保持・増進ができています	健康寿命の延伸など
B 重症化予防ができています	重症度や進行度の推移

◇保険者機能強化プラン「施策・指標マップ」●「医療費等の適正化」分野(ラフイメージ)
 【目指すべき姿】医療費のコストを最適化し、財源が確保され、質の高い国民皆保険が維持・発展されている

アクションとアウトプット		指標	関連 アウト カム	中間アウトカム	指標	アウトカム	指標
<協会けんぽの施策・事業・活動> <財源と医療費の主な構成要素の状態>							
①	保険システムの将来像に関する提言を行う	計測	1	1	保険システムの適切な将来像に 関する社会的コンセンサスがある	協会けんぽによ る評価、世論調	<目指す財政(医療費構造)の状態> 医療費が適正化、効 率化している 要開発
②	適正な補助に関して、見解をまとめる	計測	2	2	税金による政府からの適正な補助 が確保されている	協会けんぽによ る評価	質の高い国民皆保険 制度が持続されてい る 加入者調査、 医療提供者調 査
③	医療介護ケアサーピスを高め、加入 者の保険への理解を高める活動を行 う	計測	3	3	必要な保険料の確保の筋道がで きている	協会けんぽによ る評価	
④	高齢者医療のあり方について、見解 をまとめる	計測	4	4	医療需要の適正な管理と対応が できている(高齢化要因分)	指標の探索、開 発	
⑤	予防と重症化予防の活動パッケージを実施する→ 「加入者の健康度を高める」分野へ			5	医療需要の適正な管理と対応が できている(予防と重症化予防要 因分)	←「加入者の健 康度を高める」	
⑥	医療とケアのアセスメントのあり方を 提言し、推進する	計測	6	6	医療需要の適正な管理と対応が できている(技術革新要因分)	指標の探索、開 発	
⑦	診療報酬・介護報酬体系の方向につ いて、見解をまとめ、示す	計測	7	7	診療報酬・介護報酬体系が最適 化している	協会けんぽによ る評価、医療提 供者調査	
⑧	医療・ケアの均てん化、あるべき医療 ケアの順守率向上の活動を行う	計測	8	8	同等の効果であればより効率的な 医療ケアが行われている	臨床指標、医療 提供者調査	
⑨	医療提供者に関する過剰診療を減少 させる行動変容プログラムを実施する	計測	9	9	医療の過剰診療(提供者サイド) が減少している	臨床指標、医療 提供者調査	
⑩	医療ケアの利用者への適切な利用に 関する情報提供を行う	計測	10	10	医療の過剰利用(利用者サイド) が減少している	医療提供者調 査、加入者調査	